

2023年3月期 通期 決算説明会 Q&A

●第1回：2023年5月11日（Q1～Q15）

●第2回：2023年5月29日（Q16～Q18）

第1回 2023年5月11日（Q1～Q15）		
Q1	SPE	2024年3月期（今期）上期の地域別売上予想で中国比率が増えているが、下期はどれくらいになるか？また中国顧客の顔ぶれは？
A1		下期も中国比率が増える状況は変わらないだろう。上期アプリケーション別予想でファウンドリーが増えているのも、中国のファウンドリーが大きく寄与。新興のお客さまも出てきている。
Q2	SPE	今期の営業利益率計画について、上期から下期への改善ドライバーは？また次期中計では、どのような方向感になるか？
A2		・下期に（新工場の）S ³ -4フル稼働による採算性改善の効果が出てくる。また、プロダクトミックスや部材高騰の価格転嫁も下期の営業利益率改善に寄与するだろう。 ・次期中計については現在検討中であり、今後、時期を見てお話ししたい。
Q3	SPE	CY2023のWFE 20%減予想の中、今期増収増益計画で、かつ、下期偏重の理由は？また、S ³ -4フル稼働の遅れの理由もお聞きしたい。
A3		・2023年3月期（前期）は、生産キャパシティの律速により一部のお客さまで予定どおりの納入ができず、そのバックログ（受注残高）が今期にシフトしている事、微細化により洗浄の重要性が高まりエクスポージャー（占有度、重要度）が増えている事、また当社はメモリー投資減速の影響を比較的受けづらい事、などが増収増益の背景にある。 ・上期は部材不足の影響が残り S ³ -4のフル稼働が若干遅れる。下期から本来の生産キャパシティ（増強効果）を出せるようになる事が偏重の理由。
Q4	SPE	足元の受注動向は？
A4		受注は開示していないが、3Q比で4Q受注は増えている。
Q5	SPE	日本政府の輸出規制の今期業績への影響は？
A5		輸出規制案では、最先端向けの洗浄とコーターデベロッパーが該当するとの認識。該当する商談は些少である。経済産業省とのコミュニケーションにより、規制内容を注意深く確認していく予定。
Q6	SPE	足元の受注はWFEと同じような状況か？下期に下振れのリスクはあるのか？
A6		1Qも好調な受注を見込んでいる。WFE下振れの影響は当社にもあるが、それを織り込んだ上で、今期売上計画を満たす受注ができると考えている。
Q7	SPE	中国顧客の投資は、来年以降も持続性はあるか？
A7		当面は続くと考えているが、来期は需給バランスも落ち着いてくるのではないかと考えている。
Q8	SPE	CY2022のシェアがやや減少している事についての考え方は？
A8		本来であれば納入できるはずの装置が、生産キャパシティの律速により納入出来ず、その分シェア低下を招いたとの認識。競合のシェアアップについては、今後精緻に分析し、機会を見て報告したい。
Q9	SPE	今期のアプリケーション別売上予想の下期の方向感は？

A9		下期も上期とほぼ同じ比率だろう。地域別では、若干中国が増えると予想。
Q10	SPE	今期の中国向け売上予想で、上期、下期で先端と成熟ノード向けで比率は変わるか？また中国ベンダー（ローカルメーカー）が対応できる成熟ノード向け洗浄で、敢えて御社から調達する背景は何か？
A10		・ 上期、下期ともに先端向けはほぼ無い。 ・ 成熟ノードにおいても、クリティカルな洗浄は当社に発注頂いている。将来の輸出規制強化を懸念した駆け込みではなく、生産実需であると考えている。
Q11	SPE	今上期の地域別売上比率予想から計算すると中国向けが 1,000 億円以上の規模になる。3Q 決算後の説明では、中国向け先端ノードは全体の 10%、300 億円程度が減額リスクということだったので、違和感があるがいかが？
A11		現在中国のお客さまは投資の焦点を成熟ノードにシフトしており、結果的に前回ご説明していたような影響は受けない見込み。
Q12	SPE	中国顧客がさらなる規制強化を懸念して先行発注していると仮定した場合、下期に減速の可能性もあるのでは？
A12		実際にお客さまから頂いている引き合いをベースに計画を立てており、計画達成には自信がある。
Q13	SPE	微細化によって洗浄の比率が増えるということだが、実際に足元で洗浄の比率は上昇しているのか？
A13		微細化に伴って洗浄装置の売上が増えてきているのは事実。台数としての実感もある。詳細な分析は機会をみて IR デイ（今期予定の IR イベント）などで紹介したい。
Q14	SPE	今上期の地域別売上予想で、北米向け大幅増の要因は？
A14		米国で建設されている（お客さまの）工場（例えば AZ）は、北米でカウントしている。下期は比率が落ち着いてくるだろう。
Q15	SPE	S ³ -4 のフル稼働によって年間 4,200 億円の売上が可能とのアナウンスだったが、今期売上予定が 4,100 億円である背景は？
A15		先期末に S ³ -4 をフル稼働させ、今期 4,200 億円以上を目指す予定だったが、部材不足の影響によりフル稼働となるタイミングが遅れている事が背景にある。
第2回 2023年5月29日 (Q16~Q18)		
Q16	GA	今期の見通しと状況はどうか？
A16		・ 欧州は引き続き景況感を反映し低調だが、北米は引き続きPOD需要が旺盛。 ・ リカーリングビジネスは安定推移している。
Q17	FT	今後の見通しはどうか？
A17		・ 前上期の上海ロックダウンの影響による受注低迷から、今期売上は引き続き厳しい。足元の引き合い状況から、来期は市場回復に期待。 ・ 赤字幅を縮小するためにエネルギー事業を新規事業領域としてHDに移管した。インキュベーションとして、HDで事業育成をしていく。
Q18	PE	今期の見通しはどうか？
A18		先期は絶好調であったが、メモリー市況の低迷に伴い今期は顧客投資がスローダウン。今期は新製品開発に注力し市況回復に備える。

HD: ホールディングス、SPE: 半導体製造装置事業、GA: グラフィックアーツ機器事業、
FT: ディスプレー製造装置および成膜装置事業、PE: プリント基板関連機器事業